



いわき市立久之浜第二小学校 学校だより

「広い世界が開けてる」

平成30年2月14日(水)発行 第26号

文責 山田 弘

いわき市大久町大久字矢ノ目沢2番地の1

TEL 0246-82-3041 FAX 0246-82-3190

ホームページ http://www.iwaki.gr.fks.ed.jp/?page_id=86

学校目標

考える子
なかよい子
がんばる子

【今年度の重点目標】
よく聞き、伝えるように話し
進んで行動する



- 2/16 久中校区小中連携事業 推進会議
- 2/19 長なわとび記録会

いわき伝統野菜フォーラム2018に参加しました



いわき・相双 HOMETOWN

伝統野菜の魅力知って

いわきで事例発表、試食会 栽培体験の小学生ら

いわき伝統野菜フォーラム2018は9日、いわき市内郷綴町のクレールコートで開かれ、参加者が事例発表や講演、試食を通していわき産伝統野菜の魅力を感じた。



いわき伝統野菜を使った料理を試食する久之浜二小児童ら

2部構成で行われ、市民ら120人が参加した。1部は、総合学習で伝統野菜を育ててきた久之浜二小5、6年の児童がそれぞれ栽培や歴史、調理法についての事例発表を展開。四倉

学校給食共同調理場の岡田真樹栄養教諭といわき農林事務所農業振興普及部の石井睦美さんが伝統野菜の食育推進、普及についてそれぞれ講話した。2部は食の交流会と題して試食が行われた。むすめきたか(小豆)のおはぎやおかごぼうと福島のまぜご飯など、伝統野菜を使った料理18品が並び、参加者が味わった。久之浜二小児童が考えたメニュー3品も並び、「サーモンのじゅうねんパン粉焼き」を考えた同校6年の根本アリアさんは「自分の家で作った物より食べやすかった。試食を通して皆さんが伝統野菜の魅力を感じてくれたらうれしい」と話した。

2/9に内郷にあるクレールコートで開催された「いわき伝統野菜フォーラム 2018」に全校生で参加し、6年生が「じゅうねんの栽培と調理を通して学んだこと」、5年生が「いわき市の各地区における伝統野菜の栽培とその歴史や調理について」の題でプレゼンテーションを交えて発表しました。清水市長もおいでになり本校の取り組みについてお話していただきました。大勢の方の前で発表するのは緊張したと思いますが、良い経験、学習になったことと思います。

じゅうねんの栽培、収穫、調理を通して学んだことをこうして多くの方に聞いてもらえたことで、成就感を改めて味わうことができました。多くのお世話になった方々のおかげです。ありがとうございました。

発表会の後は、伝統野菜を使った料理の試食をいただきました。本校児童3人のじゅうねんの創作料理も再現され、みなさんに食べていただくことができました。これからもいわきの伝統野菜をおいしくいただきながら、継承し、広めていきたいと思ひます。



2/12(月)福島民友新聞にも掲載されました